

回覧

5月 ふたば

令和8年4月24日 社会福祉法人こどものいえ 双葉こども園 (57-2818) 副園長 岩崎 愛実

新年度がスタートして早いもので1か月が過ぎようとしています。子どもたちの表情が少しずつ和らぎ緊張もほぐれてきたようです。引き続き、家庭的な食事やわらべ歌や童謡を歌うなどして、子どもたちが安心して園の環境作りをしていきたいと思ひます。

5月は疲れやすい時期でもあります。園と家庭で連絡を密にし、体調管理には十分気を付けていきましょう。

【保育目標】

- 保育者や友だちと関わりながら、好きな遊びを十分に満喫する
- 生活リズムを整えながら、健康で安全に過ごす
- 野菜の苗植えや世話を通し、育てる喜びや楽しさを味わう

【5月のうた】

- ・こいのぼり
- ・おおきなたいこ
- ・たけんこがはえた (わらべうた)

【5月の予定】※5月6月は個人懇談月間です。

7日(木) 身体測定(2. 1. 0歳児)	
8日(金) 身体測定(5. 4. 3歳児)	
11日(月) 交通安全指導	25日(月) 不審者訓練
13日(水) 誕生会	26日(火) ミュージック・ケア(3歳児)
14日(木) おはなしひろば	27日(水) キッズハウスひろば(未就園児対象)
15日(金) 親子遠足(3歳児)	(ミュージック・ケア)
19日(火) 避難訓練・引き渡し訓練	29日(金) 布団持ち帰り

【6月の主な予定】 6日(土) 保護者会草刈り(3歳児・2歳児) 約1時間程度
12日(金) 運動会(2歳児以上参加)、17日(水) 誕生会

～「わらべうた」を紹介していきます～

双葉こども園では、毎月の歌に「わらべうた」を一曲選曲し、園全体で歌っていきます。

「わらべうた」とは、子ども達の遊びの中で子どもによって選択され、作り変えられ、伝えられる歌です。

♪ 5月のわらべうた

「たけんこがはえた」

「たけんこが はえた

たけんこがはえた ぶらんこ

ぶらんこ さるがえり」

ぜひ、ご家庭でもお子さんと歌ってみてください



新しいお友だちを紹介します

ばら組(3歳児)

みすくち
水口 あさひ さん(5月11日入園)

すみれ組(2歳児)

やまざし たいち
山岸 太一 さん(5月1日入園)

よろしくお願ひいたします。

【お知らせ】

5月19日(火)は引き渡し避難訓練を行います。その際に災害時のテストメールを送ります。避難所にすぐにお迎えをお願いする内容ですが、テストなので、通常通りのお迎えをお願いいたします。 詳細は5月23日のコドモンにてご確認お願ひいたします。

双葉こども園、園だより「ふたば」では、毎月の行事、歌やお知らせの他に子どもたちの今、体験している活動の様子を発信していきます。今月は、すみれ組(2歳児)の活動の様子、絵本コーナーの様子です。

絵本係 絵本コーナー クラスの取り組み

絵本係の取り組みとして、園の絵本・玄関絵本コーナーの管理があります。玄関絵本コーナーにはより戸外遊びが楽しめる各図鑑や、毎月旬(季節や行事・子ども達に興味があるもの)の絵本をセレクトして並べています。5月はこいのぼり関連の絵本が並んでいます！そして各クラスの月刊絵本では、1冊の自分の大切な絵本から、活動に様々な広がりが見られたので紹介します。(2歳児 すみれ組)

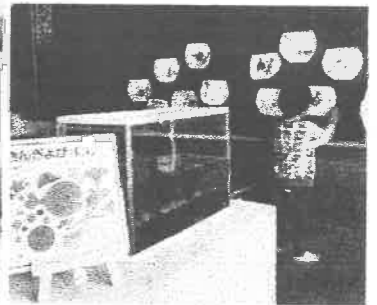


金魚の観察から絵具や指で塗るヤマト糊やシール貼り等感覚遊びを取り入れた絵本『きんぎょが にげた』を模した製作を楽しみました。



「あ！金魚にげた！」

本物の金魚を水槽に入れると絵本から金魚が逃げたと大喜び！図鑑で同じ金魚を探す姿も。



2歳児すみれ組 戸外で食べるおやつ

自然の美しさや面白さを子ども達に感じてほしい・戸外でのびのび遊びたいという思いから、おやつを持って散歩先や中庭でピクニックを楽しんでいます。戸外で食べるおやつは格別なようで「お外で食べると美味しいね」「お外で食べたいな」と戸外で食べる美味しさを感じ言葉にする子ども達です。



春の光の中で、子どもたちの“学び”が芽吹いています

今年には桜の開花が早く、双葉こども園のまわりはいつもより少し早く春色に染まりました。散歩に出かけるたび、桜の花びらがふわわりと舞い、子どもたちの肩や髪にそっと触れていきます。そのたびに「きれい！」「また落ちてきたよ」と弾む声が響き、春の空気が子どもたちの心をやさしくほぐしていくのを感じます。春の訪れと新年度を迎える桜の風景は私の愛すべき風景の一つでもあります。

ゆり組は二宮小学校のグラウンドへ
ひまわり組は石田川沿いの桜の木の下へ
ばら組は長木神社へ
すみれ組は諏訪神社へ、

そしてちゅうりっぷ組・もも組はカートに揺られながら、桜の木の側をゆっくりとお散歩しました。どのクラスも、春の光を全身で受け止めながら歩く姿がとても印象的でした。

桜を見に行ったのですが、カエルを捕まえることに夢中になり、楽しい時間を過ごしたクラスもありました。そんな日常を楽しんでいます。

そして今年、進級式で入園・進級証書を受け取った子どもたちの表情は、いつも以上に誇らしげでした。胸を張って証書を受け取る姿、名前を呼ばれて少し照れながらも嬉しそうに前へ出る姿。その一つひとつに、「またひとつ大きくなったんだ」という実感がにじんでいました。子どもたち自身が“自分の成長”を感じ取る、かけがえのない瞬間でした。

🌸春は「学び」が自然にあふれる季節

春になると、草花も虫たちも、まるで「おはよう」と言うように顔をします。ぐんぐん伸びる新芽、土の中からひょっこり現れる虫たち、そしてカナヘビまで元気いっぱい。子どもたちの前姿を見せてくれるたびに、「いた！」「つかまえた！」と大興奮です。

虫取りありと昆虫ケースを手に、毎日戸外へ飛び出していく子どもたち。

夢中になって追いかけ、じつと観察し、友だちと見せ合いながら、自然の中でたくさん“学び”を積み重ねています。

自然との出会いは、子どもたちにとって最高の教材です。

「どうしてここにいるの？」 「何を食べているのかな」 「どこに帰るんだろう」

そんな“問い”が自然と生まれ、考え、試し、また気づく。

この繰り返しが、子どもたちの探究心を育てていきます。

🌸進級の喜びは「自信」という芽を育てる

進級証書を受け取る姿には、子どもたちの中に芽生えた“自信”がはきりと見えました。

「ぼく、ひとつ大きくなったんだ」 「わたし、もう〇〇組なんだよ」

そんな言葉が自然とこぼれ、表情にも誇らしさがあふれていました。

自信は、子どもが次の挑戦へ踏み出すための大切なエネルギーです。その小さな芽を、

これからの一年でどれだけ大きく育てていけるか。私たち職員も、子どもたちと同じように胸を高鳴らせています。

🌸自然の中で育つ「心」と「つながり」

春の戸外遊びは、子どもたちの心を大きく動かします。

虫を追いかける時の真剣な表情、友だちと見つけたものを見せ合う嬉しさ、

「賞して」「いいよ」「一緒にやろう」 そんなやりとりの中で、社会性や思いやりの芽も育っていきます。

自然の中での遊びは、ただ楽しいだけではありません。

“自分で考える力” “友だちと関わる力” “挑戦する力”

こうした生きる力の土台が、遊びの中で確かに育っていきます。

新年度が始まり、子どもたちの表情には“はじまりの力”が満ちています。

桜の下で笑い、虫を追いかけて、進級の喜びを胸に、子どもたちはもう、今年の一步をしっかりと踏み出しています。

これからどんな出会いがあり、どんな学びがあり、どんな成長を見せてくれるのか。そのすべてを、保護者の皆さまと一緒に見守っていきけることを嬉しく思います。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

